

JF日本語教育スタンダード2010
利用者ガイドブック【第三版】

目 次

JF日本語教育スタンダード2010全体マップ..... ii

1章 知識編

1.1 「JFスタンダードの木」を理解する..... 3
1.2 6つのレベルを理解する..... 8
1.3 「Can-do」を理解する..... 10
1.4 ポートフォリオを理解する..... 22

2章 実践編

2.1 コースをデザインする..... 37
2.2 コースデザインに「Can-do」を使う..... 49
 (1) 学習目標一覧と自己評価チェックリストを作る 49
 (2) 話す力を測るための評価基準と
 評価シートを作る..... 57

参考資料..... 70

【JFスタンダードご利用にあたっての免責について】

- 国際交流基金は、JFスタンダードの内容の正確性の確保に努めています。また、掲載する文書・写真・イラストその他各種コンテンツ等については、慎重に作成しておりますが、当基金がこれらの完全性を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- JFスタンダードを利用してコースデザインやカリキュラム作成、試験作成や試験を行った場合、その正確性や有効性の責任はそれぞれの実施主体にあり、国際交流基金および欧州評議会は一切の責任を負いません。以上の内容をご理解頂いた上、ご利用ください。